

平成22年度 地域の“まちづくりびと”養成講座 みんなで描こう！住みよいまち
第2回 「地域のまちづくりを学ぼう ～データや資料からまちの様子を知る～」

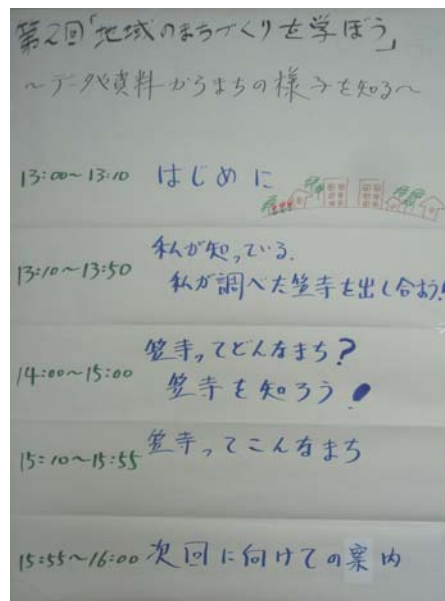
日時：12月11日（土）

場所：南区 笠寺学区公民館

時間：13時00分～16時00分

今回が講座「みんなで描こう！住みよいまち」の第2回目で、この笠寺という「まちを知ろう」ということが目的です。

まず、先週の宿題シート「私が知っている、私が調べた笠寺を出し合おう」を基にグループ内で話し合い、まとめた結果を発表してました。その次に、「座学：笠寺ってどんなまち？」という内容で、南区役所、市役所の都市計画課の方から、笠寺のまちの変遷や現状、都市計画といった話を聞きました。その後、各グループに分かれて、先ほどの座学を聞いて感じたこと、考えたことをグループで話し合いましたが、途中で時間切れとなり来週に持ち越しとなりました。



演習

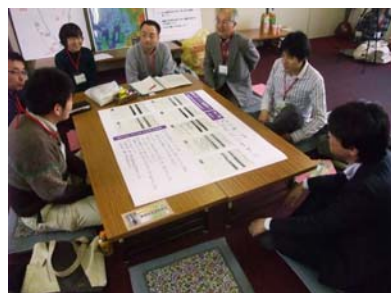
「私が知っている、私が調べた笠寺を出し合おう！」



今日の講師は、地域問題研究所の加藤栄司さんです。

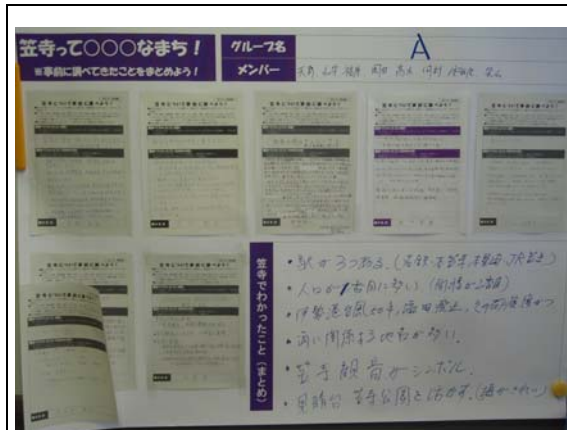
まずは、受講生たちが書籍やインターネットなどを使って調べた「私が知っている、私が調べた笠寺を出し合おう！」について、1人3分の持ち時間で説明しながら、グループ内で各自調べたことを共有しました。

色々な意見が飛び交っているグループ、肅々と作業を進めているグループなどグループ間の雰囲気の違いもなかなかおもしろいものです。ワイワイと作業を進めていますが、時間は無限ではありません。各グループのメンバーが調べたことを基に、「笠寺で分かったこと」をまとめ、発表の準備をしました。



発表

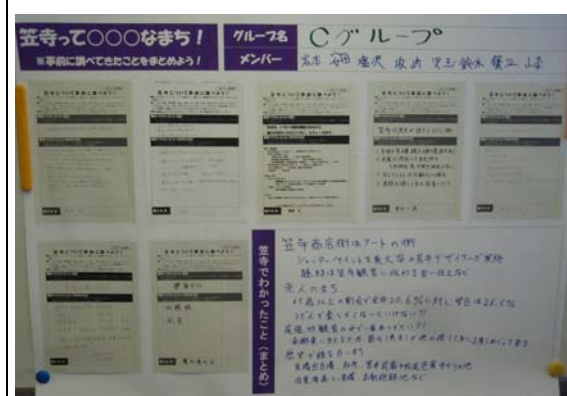
各グループ2分以内で発表します。グループ毎に順番に前に出て発表です。皆さん、時間を守って発表していただきました。さらに発表が終わると他の受講生からの質問も出て、質疑応答を行いました。



Aグループ



Bグループ



Cグループ



座学

「笠寺ってどんなまち？笠寺を知ろう！」

①「都市計画って何だろう？」と題し、話し手として、名古屋市住宅都市局都市計画課の塩沢さんにお願ひしました。まちづくりや都市計画の行政的なしくみ、市街化区域について、用途地域、建蔽率、容積率について分かり易く説明をしていただきました。その後、実際にこの講座のモデル地区となっている南区の用途地域状況や、土地の利用変化、人口、年齢、世帯数などの変化をデータをもとにして説明していただきました。データから色々な事が見えてきそうです。





②「笠寺の歴史財産」と題し、話し手として、南区役所まちづくり推進室の船橋さんをお願いしました。笠寺のまちがどんな風に今に至ったかを、過去の地図や歴史資料などで説明してもらいました。これからの笠寺が、今後は住む人がこのまちが好きだと思えるようなまちになっていくといいですね。その提案を行うため受講生の皆さんは真剣に耳を傾けていました。

③「笠寺の古老の話」と題し、本来なら、直にお話を聞きたかったところですが、都合が付かないということで、名古屋都市センターの安田まちづくり相談幹より、古老の貴重な話を紹介しました。

（笠寺は、かつてどんな町でした）（その後、町はどう変わりましたか）（住み心地はどうですか）といった地元ならではのお話でした。また、古老が作成した巻物は受講生のみなさんの関心を集めていました。



本日のまとめ



先ほどの座学を聴いてもらい、グループワーク「笠寺ってこんなまち ～笠寺のまちの強み(魅力)と弱み(問題点)に分けて笠寺のまちの特色を整理しよう!～」に取り組みましたが、途中で時間切れとなったので、次回に持ち越しとなりました。

次回の“まち歩き”で実際に笠寺のまちを歩いて、グループで写真を撮って印刷し、まとめに使うためのデジカメを持ってくる担当者を決め、今日のアンケートを記入し、第2回目の講座は終了となりました。

*** アンケートより、全体を通じたご意見・ご感想など ***

- ・ 時間配分を再検討。(特に個人の) ゆったりとしてよかった。今後に期待
- ・ 知らないことだらけでびっくりでした
- ・ グループワークの時に、グループ内での役割分担をはっきりさせてから始めないと、次回以降まとまらないのではないかと思います
- ・ 自分とは異なる視点でのご意見をお聞きして大変参考になった
- ・ 笠寺地区のこれまでに知らなかった情報が得られ参考になった
- ・ そもそも「まちづくり」とは何かを考えさせられましたが、講師の方の説明等で少し分かった気がしました
- ・ 時間不足ではと思います。午前中、午後にわたり開催されてはいかがですか？
- ・ 進め方の練習が必要かなと思いました
- ・ グループワークの進行はなかなか難しいと思いました